

2021年10月16日 報告

ビジョンプロジェクト 活動報告

2021年10月16日

一部：ビジョンプロジェクト討議会 『特定整備後のビジョン～危機感と希望～』

日時：2021年 10月15日 15:00-18:00

開催場所：北海道職業能力開発サービスセンター

参加：平塚副会長、菅教育委員長、市川経営・技術委員長、中村委員 他 計40名

形式：リモート+現地開催

詳細・所感

ビジョンプロジェクトによるリモート討論会としてプロジェクトメンバーだけでなく、北車協連はじめ全国組合員に開かれた討議会として開催

冒頭、**平塚副会長**から開会の挨拶とビジョンプロジェクトの活動趣旨と公開討議会開催意義を説明。

その後**市川経営・技術委員長**より、車体整備業界の変化について、国土交通省の高度化検定会、ワーキンググループの現状報告を交えながら説明し、参加者からの質問にプロジェクトメンバーが回答する形で討議会は進行。

特に整備士資格や認証基準、故障診断機などの設備投資にかかわる情報について活発な意見交換がなされた。車体整備事業者以外にも、リモート参加の日本自動車ガラス販売施工事業協同組合の大竹氏から討議会参加への感謝の意を述べる場面及び、賛助会員として、組合未入会の方々への呼びかけしていくとの意見も頂いた。情報のアップデートの必要性和重要性を理解してもらった。

菅教育委員長から全国の組合員が今後車体整備事業を継続していくにあたり、経営者に求められる新しい教育の重要性和、日車協連自主認定資格取得の必要性を訴えかけた。

中村委員からは、日車協連青年部の活動が、経営者として身に着けるべき教養へとつながるために、日車協連と日車協連青年部との更なる連動と連携を求めた。また、ガラス・電装・タイヤ業界との連携が必要性について意見が出された。

二部：ビジョンプロジェクト討論会のレビューとプロジェクトの進捗ミーティング

日時：2021年 10月16日 09:30-12:00

開催場所：札幌駅 駅前ビル 貸会議室

参加者：平塚副会長、菅教育委員長、市川経営・技術委員長、中村委員

詳細・所感

・ビジョンプロジェクト討論会のレビューの実施

平日開催にもかかわらず、多くの参加者（40名）により盛会に終わった。

現地参加工場には社員同伴の経営者もあり、意識の高さが見られた。

前向きな質問や意見も多く見られ、情報の重要性が再認識できる討論会となった。

しかしながら、WEBでの途中参加、退出も散見され、知識を得る場として、その意識づけの強化が引き続き必要であるとも感じた。

・強化課題についての意見交換と方向性の確認

1 先進安全自動車対応優良車体整備事業者（高度化認定）1000社達成に向けての進捗

準備段階として早急な現状把握が必要

整備士資格、工場資格等 組合工場情報の正確な把握 →データベースが必要

- ・各組合のデータベース構築のためには、各単組事務局との連携が不可欠
具体案として期内に事務局会議開催などによる意識統一や実行オペレーションの統一
- ・各組合への実行計画書の提出依頼
- ・日車協連のさらなる実行スキーム強化
執行機関（理事会）・企画機関（委員会）・実行（各単組）の運用
- ・今後の整備士資格法対応に合わせた組合加入者の加盟促進による認定工場候補増

2 小規模事業者との連携・協同・協業体制 「車のBP救～P I T」として

現在商標登録出願中です。令和6年4月以降の運営について企画立案中です。

- ・日車協連として、各単組・組合員の参加参画の仕組みづくりを構築する
(組合員への周知徹底、単組を含め層部だけの情報で止まっているか)
日車協連の情報を連絡協議会、単組に伝達する組織の再構築が必要

市場縮小の中、生き残るための相互扶助施策の強化として「車のBP救～P I T」

- ・小規模事業者への情報提供と教育機会、事業者同士のサポート
- ・「車のBP救～P I T」など共同作業体制含めたグループ化の促進
先進安全自動車対応優良車体整備事業者をハブ工場としグループ化を図る

- ・従来の技術講習に加え、経営者講習が必要、補助金等の活用も全体でサポート教育委員会で企画中
- ・産廃処理問題や材料費高騰など環境問題も絡んだ車体整備事業の立ち位置の見直し

3 最終目標

・整備士の再教育を行い、技術の向上と法令順守の事業場づくり、連携・協業体制・「車のBP救～P I T」の構築で、車体整備士に再教育を目指します。また先進安全自動車に対応する車体整備士育成のための教科書を作成する教科書編纂委員会を立ち上げました。

車体整備士だけでなく経営者教育に取り組み、安全安心の提供を目的とした新しい日車協連の構築で、日車協連加入組合員で働く社員の平均年俸を500万円にする取り組みに着手したい。

以上

「車のBP救～P I T」は、日本自動車車体整備協同組合連合会の登録商標です。